



# 新堀小だより

冬休み月号

令和4年12月23日発行

元気いっぱい 夢いっぱい みんなが輝く新堀小学校  
新堀小3つの約束「心のこもったあいさつ 時を守る みんな仲よく」  
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>



人を想う心～「寛容さ」・「優しさ」

校長 若林 寿

本格的な冬となりました。いよいよ子ども達にとって待ちに待った楽しい冬休みに入ります。本日、子ども達が持ち帰ります通知表については、家族と一緒に振り返っていただき、3学期に向けての意欲が高まりますようお声かけをお願いいたします。

さて、ヨーロッパ(日本人学校)への派遣期間中のことです。年末から年始にかけてリスボン(ポルトガル)の友人宅を家族で訪れたことがあります。ヨーロッパの人たちは、クリスマスホリデーを家族で過ごすことを大切にしていることを聞いていたので、勝手に気遣いし、その期間は、近隣の街へ旅行することにしました。友人はこの時期は、お店が早く閉まることを教えてくれましたが、クリスマスの街はさぞかし賑やかに違いなと、少し楽しみな気持ちで目的地に向かいました。夕刻になる頃、目的地に到着です。しかし、街にあるレストランやスーパーマーケットなど、全てのお店が既に閉店していました。それではホテルで食事をしようと宿泊先に行ってみると、なんとホテルのレストランも閉まっていた。どこかで食事ができないかと従業員さんに聞いてみましたが、答えは「Não(いいえ)」でした。異国の地で幼い二人の子供を連れていたので途方に暮れていると、その従業員が自宅からお料理や飲み物を持ってきてくれました。そして、笑顔で一言“Felize Ano Novo(クリスマスおめでとう)!”私たち家族は、たちまち幸せな気持ちになりました。次の日は、別の街へ向かいました。夜に備え、昼のうちに食料を調達しましたが、ホテル近くの小さなレストランが開いていたので行ってみました。レストランと言ってもテーブルとイスが置いてある小さな売店です。店内は狭く薄暗い明かりで、不安な気持ちで店内に入っていました。席についてしばらくすると、店員さんがケーキと飲み物を運んできました。慌てて注文していないことを伝えると、店員さんは隣のテーブルの方

を手で指しました。テーブルの方を見ると老夫婦がグラスをこちらに向けて笑顔で一言

“Felize Ano Novo(クリスマスおめでとう)!” またもや私たちは、とても幸せな気持ちになりました。この忘れられない出来事をさっそく友人に話すと「子供を連れてるとよくあることだ」とあまり驚かない様子で答えていました。ある調査では、ポルトガルは「個人の幸福度No.1の国」、「世界で一番過ごしやすい国」となっていました。国民性や文化の違いはありますが、あの生き生きとしていて素敵な方達の振る舞い(人を想う心「寛容さ」・「優しさ」)を見習いたいと思ったことを覚えています。

最近、地域の行事に参加したり、地域ボランティアの方々に協力をいただいたりする機会がありました。身近にもたくさんいらっしゃる、生き生きとしてとても素敵な人たち、

【町内会で活動されている方々】

○新堀一丁目「芸術村展・灯明まつり」



○新堀二丁目「餅つき大会」

【シルバー見守りボランティア】

○下校見守り、学校の草取り奉仕作業



【新堀高齢者生き生き広場「エレガンスの会」】

皆さんの子供たちや地域の人たちを想う心「寛容さ」・「優しさ」に心から感謝いたします。

保護者、地域の皆様、良いお年をお迎えください。